

令和6年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立園芸高等学校
校長名	神 絵里香

開催日時	令和7年2月17日(月) 15時30分～17時15分
開催場所	本校会議室
出席者(委員)	中桐 委員、小南 委員、磯村 委員、石田 委員、長尾 委員
出席者(学校)	神 校長、福永 教頭、臼井 首席、太田 首席、平尾 首席、落田 教諭(環境緑化科長)、小林 教諭(バイオサイエンス科長)、金沢 教諭(普通科長)、兼田 教諭(書記)
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 学校経営計画および学校評価 ・令和7年度 学校経営計画および学校評価 ・令和6年度 各分掌等の取組目標・評価 ・令和6年度 卒業生 進路状況 ・学校教育自己診断 ・授業アンケートについて
備考	

議題等(次第順)

- (1) 保護者からの意見提出の状況
- (2) 令和6年度 学校経営計画および学校評価
- (3) 令和7年度 学校経営計画および学校評価
- (4) 令和6年度 各分掌等の取組目標・評価
- (5) 令和6年度 卒業生 進路状況
- (6) 学校教育自己診断
- (7) 授業アンケートについて
- (8) 令和7年度の使用教科書について
- (9) その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (1) について
 - ・2月17日時点で、保護者からの意見なし
- (2) について

本年度の取組み内容と自己評価 ①確かな学力の育成：家庭学習習慣をつけていく。②安全安心で魅力ある学校づくり：授業徹底週間により生徒の意識醸成ができ始めている、地域連携も積極的に実施。③夢と志を持つ生徒の育成：就職率100%、国公立大学6名・難関私立大学12名合格。④校務の効率化と働き方改革の推進：業務負担の平衡化概ねできている。・概ね満足できる学校運営であった。次年度以降、魅力化をさらに進める。(校長)

Q. 学校の魅力発信効果はどれくらいか、体験入学・入試説明会に参加した人数のうち受験した生徒は何人か？(委員より) →A. 正確な数は不明だが、入学者は全員入試イベントに参加している(首席)。

い園芸卒業生の出身中学校での講演会は、中学生への魅力発信に効果的だと感じた。「園芸高校」というワードが中学校で頻繁に聞くようになると良いと感じる(委員より)。

い中学生保護者は、高校卒業後の進路情報も知りたい。卒業後進路状況や入学後満足度が一目でわかるように、ポスター等にそれらの情報を記載するのはどうか(委員より)。

(3) について

・次年度の取組目標（抜粋）①確かな学力の育成：家庭学習の習慣をつけていく、④校務の効率化と働き方改革の推進：Web会議システムの利用を増やしたい。（校長）

↳業務のスリム化を実施しているが教員数は妥当か？業務の量・質が大きく変わらない中で教員が必要以上に苦勞を強いられていることはないか？教員数を増やす必要があるのではないか。（委員より）

↳学校運営協議会の意見として上げてほしい。（委員より）

(4) について

・教務システム変更に伴い不具合が多数発生しているが生徒に不利益のないよう務める（教務部長）。年度当初からのピアス指導効果あり（生活指導部長）。課題提出率、到達度テスト低迷している（進路指導部長）。1, 2年生への各種検定受検をプッシュする（普通科長）。入学志願者数増加に向けて、外部連携やSNSアプローチを今年度はより一層実施したが増加に繋がらなかった（各学科長）。

↳定員数に満たないのは府立高校全体の低迷によるのでは？数値目標でなく、入学したい生徒が入学し、その生徒たちが高校生活を充実させ、成長していくことが大切なのではないか。（委員より）

(5) について

・（就職）学校紹介の生徒は内定率100%、関連企業への就職は69%。（進学）国公立大学6名合格。（進路指導部）

(6) について

・低評価項目（生徒）ICT機器の活用、生徒会活動への参加率、（保護者）スタディサプリ学習の有用性、（教員）施設・設備の管理と修繕。（教頭）

(7) について

・第2回授業アンケート（全校生徒対象（回答数：1年生180人、2年生184人、3年生153人）、1人1台端末を活用したgoogleフォームにて令和6年12月11日実施）結果：全学年生徒の満足度に関する項目が90%以上であった。満足度の低い生徒へ声かけする必要がある。（教頭）

(8) について

・検定教科書より選定した。（教務部長）

(9) について

・特になし

次回の会議日程

日時	令和7年6月
会場	大阪府立園芸高等学校